

| | | | |
|--------------|-------------------------|------------|---------|
| 授業科目名 | 人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309) | | |
| 時間割名 | 人間教育学ゼミナール（基礎）(35106) | | |
| 時間割担当 | 松井典夫 | | |
| 実施期 | 通年 | 単位数 | 4 必修 選択 |
| 曜日・時限 | 水・5 | | |

授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、学校安全やいじめ、不登校など、現代の教育課題に関心を持ち、その課題に対する対応や見識を深めることによって、教師としての資質・能力を高めていくことを目的とする。

小学校等の研究会などにも参加し、授業観察や学校観察も行うことによって、実地的に学び、見識を深める機会も持つ。

学習の到達目標

学校教育に関する知識・理解 教師の資質・能力について 教育の現代的課題について
以上の三点についての理解と認識を深め、学校教育現場で実践することができる資質・能力をつける。

授業方法・形式

それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
ペアやグループ学習、取り上げるテーマに関するディスカッション等を行う。
また、研究会などに参加し、実地的に学ぶ機会を持つ。

授業計画

第1回～第5回
教育の現代的課題に関心を持ち、テーマを収集する。 研究計画を立てる。
第6回～第10回
研究テーマを決定し、資料収集及び学校現場への視察等を行う。
第11回～第15回
収集した資料をもとに、研究テーマをまとめるプロットをたてる。

成績評価の基準

授業中に行う活動や小レポート評価し、授業に対する関心・意欲・態度や理解度を評価する（40%）
課題レポートにおいて、課題探究の深さ、緻密さ、斬新さなどを評価する（30%）
学期末レポートにおいては総合的な理解を確認する（30%）

準備学習・復習及び授

授業時に、次回以降の学習テーマについて、予習する内容を具体的に伝える。必要に応じて提出も課する。復習についても同様。

履修上のアドバイス及

これまで学修した内容や方法の定着はもとより、身につけたアカデミック・スキル（Academic Skills）を活用して行くことが大切です。これからの教員の専門性を磨くために学び、子どもたちの未来に役立つ研究のステップアップを期待します。

教材・教科書

必要に応じて、授業中に指示します。

参考書

授業中に指示する。